

Ⅱ. 分担研究報告

吃音症の実態把握と支援のための調査研究

菊池 良和

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

吃音症の実態把握と支援のための調査研究

研究分担者 菊池良和¹

研究協力者 北洋輔²

1：九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科学 助教

2：一橋大学 森有礼高等教育国際流動化機構 准教授

研究要旨

吃音症は有病率が1%程度と言われているが、幼児期から青年期まで診療できている病院は全国に数カ所と少ない。また、吃音症状による生活の困難感を把握する指標はなく、各年代に対する相談対応が統一されていないなどの問題点が挙げられる。さらに、吃音症に対する知識の不足により、教育や就労において社会的障壁が発生しているため、吃音症の実態把握調査を通じて、各年代の生活困難感に即し、統一された対応に向けた支援マニュアル作成への示唆を得ることを目指した。家族会や研究分担者の担当する吃音患者（幼児期、学童期、思春期、青年期）を対象に、質問紙調査を実施した。2年間で合計180名分（幼児期23名、学童期43名、思春期66名、青年期48名）のデータを収集した。データ解析の結果、吃音者は特定の場面で困り感が増加することが分かった。困難度を検出する問診票をライフステージごとに作成し（幼児期7項目、学童・思春期5項目、青年期以降4項目）、信頼性及び妥当性を検証した。また、支援機関で各年代に対応する支援マニュアルを作成した。

A. 研究目的

吃音症は有病率が1%程度と言われているが、幼児期から青年期まで診療できている病院は全国に数カ所と少ない。吃音症の4歳での発症率は11.2%であり、12か月後にはその約1割は自然軽快し、幼児期の時点では生活上の影響は少ない(Reilly, 2013)ものの、周囲から吃音の指摘を少しずつ受け始める(伊藤, 1995)。8歳で吃音のある子は思春期にも症状が持続し(Howe 11, 2011)、吃音がない人たちと比べて社交不安障害のリスクが高い(菊池, 2017)。また、現在の診療・支援体制においては、吃音症の重症度は「吃音検査法」のみであり、生活の困難感を

把握する指標はなく、各年代に対する相談対応が統一されていないなどの問題点が挙げられる。さらに、吃音症に対する知識の不足により、教育や就労において社会的障壁が発生し、社会的障壁を除去するための対応マニュアルの作成が求められている。本分担研究では、日本における幼児期、学童期、思春期、青年期といった各年代の吃音症の実態を把握し、実態に即した重症度指標及び生活困難度指標を明確化することを目的とする。

本年度は、吃音症の幼児期早期から青年期までの各年代調査を通じて、重症度指標と生活困難指標を明確化することを目標とした。

B. 研究方法

1.対象者と実施時期

令和2年2月より外来等において幼児期 22名、学童期 74名、思春期 101名、青年期 73名の計270名に調査を依頼した。分担研究者の原氏の調査結果と合わせて、幼児期 23名、学童期 43名、思春期 66名、青年期 48名の180名からASEBA及び吃音特有問診表の回答を得た。

2.調査方法

全員に対して、質問紙による調査を実施した。研究分担者の患者及び追加の調査が可能な質問紙調査の回答者に対しては、面接による調査も同時に実施した。

1)質問紙調査

(本人評定)

- ①幼児期：日本語版Kiddy CAT 幼児用コミュニケーション態度テスト
- ②学童期：ICFに基づく発話・コミュニケーション活動と参加の質問紙
- ③思春期：ICFに基づく発話・コミュニケーション活動と参加の質問紙
- ④青年期：吃音者の困難さを包括的に評価紙OASES-A
- ⑤思春期：YSR 11-18 本人用
- ⑥青年期：ASEBA ASR 18-59 本人用

(保護者評定)

- ①幼児期：ASEBA CBCL 1.5-5 保護者用
- ②学童期：ASEBA CBCL 6-18 保護者用

2)面接調査

社会機能：Vineland-II 適応行動尺度

3.統計解析

困り感を抽出するアセスメントツールの信頼性をCronbachの α 係数、妥当性をJMP 16を用いて解析した。

4.倫理面への配慮

本研究の実施に先立って、九州大学大学院医学研究院倫理委員会の承認を得た。調査の依頼状には、調査への参加は任意であること、不参加によって不利益を生じないこと、回答の返送によって調査に同意したとみなすこと、調査を途中で中止できること、調査による直接的な利益はないことを記した。

C. 研究結果

幼児期の困り感について7項目抽出した(例：スムーズに話ができない時に、途中で話すのをやめてしまうことがある)。学童・思春期の困り感には5項目(例：授業で、教科書を声に出して読む)抽出した(信頼性 0.79)。青年期の困り感には4項目(例：自分の吃音を心配・不安)抽出した(信頼性 0.81, 妥当性 $p<0.01$)。

D. 考察

吃音症の困り感には幼児期、学童期、思春期、青年期で困る場面が変化していく。吃音当事者の困り感を支援していくためには、年代ごとの社会的障壁を把握している必要があるだろう。

E. 結論

吃音症の支援は、社会的障壁の把握も含まれる支援マニュアルを活用することが望まれる。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Kikuchi Y, Umezaki T, Adachi K, Sawatsubashi M, Taura M, Yamaguchi Y, Fukui K, Tsuchihashi N, Murakami D, Nakagawa T. Can having siblings increase stuttering as compared to being an only child?. Int Arch Commun Disord 3:017, 2020. doi.org/10.23937/2643-4148/1710017
- 2) Kikuchi Y, Umezaki T, Adachi K, Sawatsubashi M, Taura M, Yamaguchi Y, Tsuchihashi N, Murakami D, Nakagawa T. Age at Decannulation after Pediatric Tracheostomy. J ENT Care Otolaryngol Res. 2: 1006, 2020.
- 3) Kikuchi Y, Umezaki T, Adachi K, Sawatsubashi M, Taura M, Yamaguchi Y, Tsuchihashi N, Murakami D, Nakagawa T. Awareness in young stuttering Japanese children aged 3-7 years. Pediatr Int. (in press), 2020. doi: 10.1111/ped.14405.
- 4) 菊池良和. 特集 耳鼻咽喉科診療 Q&A 【喉頭・気管】 10. 小児の吃音への対応はどうしますか?. JOHNS 36(9), 1266-1267, 2020.
- 寄り添い、学ぶ 吃音のある子どもと家族の支援:暮らしから社会へつなげるために」、学苑社、2020/8/25.
- G. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)
1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

2. 学会発表

- 1) 菊池良和. 市民公開講座「分かりやすい吃音の理解と支援」第 55 回日本音声言語医学会総会 in 名古屋. 2020/10/10-11.
- 2) 菊池良和. 準備委員会企画講演「吃音支援における教育と医療の連携」日本特殊教育学会 第 58 回大会 in 福岡. 2020/9/19-21

3. 著書

- 1) 小乃おの、菊池良和「きつおんガール」合同出版、2020/9/3
- 2) 堅田 利明、菊池良和編著「保護者の声に

資料

吃音症の支援マニュアル

1. はじめに

吃音症は神経発達症の一つであり、発達障害者支援法の対象疾患です。そのため、発達支援センターの役割として、吃音症も対象疾患に含まれます。吃音症の相談に来る保護者および当事者は、「園や学校から吃音症の相談に行くように言われた」「吃音が始まったがわが子の吃音に対して、どのように接していいのかわからない」「インターネットで調べたが、情報が多いため、どの情報が正しいのかわからない」「本人が吃音の相談をしたい」「吃音は治るんですか？」などを様々な相談があるでしょう。

このような様々な悩みがありますが、こうやったら吃音が治るという方法は確立されていません。しかし、コミュニケーションは言葉のキャッチボールです。吃音のある話し手を変えるのが難しいのですが、聞き手を変えることが支援に有効であり、吃音のある子の生活が楽になります。そのため、年代ごとに支援策を知る必要はあります。例えば、3歳の子の相談と、小学1年生の子の相談、大学生の相談は異なることは明らかであり、幼児、学童、思春期、青年期の4つに分けて、以下に支援マニュアルを作成しました。以下、概略です。

支援マニュアルの概略

年代	悩み	対応例
未就学児	園の先生に伝えたい	園の先生へのプリントを渡す
	お勧めの書籍を知りたい	「子どもの吃音 ママ応援 BOOK」「吃音のある子どもと家族の支援」(学苑社)などを紹介
	相談機関を紹介してほしい	各都道府県の言語聴覚士会に相談
学童期	学校の先生に伝えたい	学校の先生へのプリントを渡す
	お勧めの書籍を知りたい	「吃音の合理的配慮」(学苑社)「きつおんガール」(合同出版)などを紹介
	相談機関を紹介してほしい	各都道府県の言語聴覚士会に相談
思春期	学校の先生に伝えたい	中高校の先生へのプリントを渡す
	お勧めの書籍を知りたい	「吃音の合理的配慮」(学苑社)「きつおんガール」(合同出版)などを紹介
	相談機関を紹介してほしい	各都道府県の言語聴覚士会に相談
青年期	大学の先生に伝えたい	大学の先生へのプリントを渡す
	お勧めの書籍を知りたい	「吃音の世界」(光文社新書)「きつおんガール」(合同出版)などを紹介
	相談機関を紹介してほしい	各都道府県の言語聴覚士会に相談 言友会などの自助団体を紹介

2. 吃音の基礎知識－吃音はタイミング障害

吃音の主症状として、連発（ぼぼぼぼぼくは）、伸発（ぼーーーくは）、難発（・・・ぼくは）の3つに分かれます。幼少時には連発と伸発が主だが、思春期・青年期と年齢があげると、最初の言葉が出にくい難発が多くなっていきます。吃音の特徴として、伴奏のある歌ではどもらない、2人で同じ言葉を一緒に言う時にどもらない特徴があるため、話し始めのタイミング障害と言われています。つまり、話すときにタイミングが合えば流暢に話せますが、タイミングのずれが生じると吃音が生じます。そのため、急いで話そうとするときは、話し始めのタイミングが合わず吃音が出やすく、時間的に余裕があり、落ち着いて話すときには流暢に話せるときが多い。実際、吃音の相談に来る人の約半数は、短時間の会話では吃音がさほど出ません。「診察時、吃音が見られなかったから、悩み度合いが小さい」ことはなく、顕在化しにくい吃音に想像力を持って、保護者および子どもに接する必要があります。

吃音症は2歳から5歳の間に人口の5～11%に発症¹⁻³⁾し、発症後3年で男児は約6割、女児では約8割自然回復⁴⁾します。8歳の時点で明らかな吃音がある子は、思春期までは吃音が続くリスクが高いです⁵⁾。吃音の相談時は、保護者が将来を心配しての来院（リスクマネジメント）か、現在直面している問題（自己同一性、社会的障壁など）の解決を希望しての考える必要があります。幼児期は前者のリスクマネジメント、学童期以降は後者の直面している問題とリスクマネジメントの合わせた悩みであることが多いです。

3. 保護者（特に母親）の罪悪感を取り除く

吃音の発症パターンとして、約4割がある日を境に急に始まること⁶⁾が分かっています。昨日まで流暢に話していたのに、3歳児健診で言葉の異常がなかったのにと、特に母親が子どもの吃音に対して罪悪感を持つことが多い。過去に「子どもの未熟な非流暢な話し方を吃音と気づくことが原因」と言われた時代（診断起因説）が提唱されたこともあります⁷⁾。また、下の子の妊娠・出産の時期と吃音が始まった時期が重なり、インターネット上では愛情不足が吃音の原因という誤情報があります。吃音が始まった子は生まれつきの体質を持っていて、言語発達の急激な年齢で始まることが言われており、親の接し方ではないことを伝えることが大切です。

親が吃音の原因だと考えると、親は子の吃音に対して寛容ではなくなります。どうにかして治そうとする親は、「ゆっくり話して」「深呼吸をなさい」「落ち着いて」という話し方の矯正などを行います。成人になった吃音者が言うことに、吃音がでるたびに話し方のアドバイスをされると、本人の発話意欲が減少だけではなく、自己肯定感も減少します。

子どもが話す行為には、表面上は吃音が出ていても、内面は話したい気持ちが存在します。吃音のある子の接し方は、内面の話したい気持ちを育てることです。話している最中の支援は不要で、話し終わってからの支援をして欲しいと伝えている。吃音のある子が話し終わったら、その言葉の繰り返しなどを行い、話したことが「伝わったよ」ということが伝わり、会話が続くことが、発話意欲の増加につながります。保護者向けの吃音のマンガ本「子どもの吃音 ママ応援 BOOK」⁸⁾または保護者および当事者の体験談本「保護者の声に寄り添

い、学ぶ 吃音のある子どもと家族の支援:暮らしから社会へつなげるために」⁹⁾の情報提供は役に立つと思います。

4. 吃音のある子に、オープンに吃音の困り感を尋ねる

「吃音を気づかせない方がいい」という情報に接することがあるかもしれませんが。話し方の矯正を無理にしない、という意味では正しいのですが、子どもの SOS を早めにキャッチする機会を逃す可能性があります。小学生以上まで続く吃音に関しては、家庭でオープンに話すことが大切です。オープンに話すと言っても、真似・指摘・笑いを受けていないかを聞くくらいで良いと思います。

「話し方の真似されていない?」「なんで、そんな話し方するの?」と聞かれていない?」「話し方を笑われていない?」と尋ねてみてください。約6割のお子さんが、「されている」と答えていました¹⁰⁾。されていたら、「誰に?」と聞いて、園や学校の先生に対応を考えてもらうきっかけを作っています。

また、「君は、あああって言葉を繰り返すことある?」と聞くと、「ある」というならば、「わざとではないよね」と吃音の話をする事で、家庭で吃音をオープンに話すきっかけを作ることができます。

学童期、思春期、青年期などでは、自分の吃音の悩みを言語化できない、または「自分一人だけ、言葉がうまく出ない」という孤独を感じる場合があります。その対応として、吃音に関するエッセイ漫画「きつおんガール」¹¹⁾または書籍「吃音の世界」¹²⁾を読むことが助けになります。

5. 園・学校の先生への伝え方

多くの保護者が先生に吃音のことを伝えると、「真剣に話を聞いてもらえていない」「心配しすぎの親だと思われた」など感じ、それ以降の先生に吃音のことを伝えることをためらうことがあります。しかし、保護者が我が子に吃音があることを先生に伝えることで、子どもにデメリットはありません。口頭でただ「吃音があります」というよりは、吃音の啓発資料とともに伝えることが良いでしょう。この資料の「幼稚園・保育園の先生へ」「小学校の先生へ」「中高校生の先生方へ」「吃音のある学生の在籍する大学等の教職員の皆さまへ」をコピーして渡してください。

また、東京都の小学校の先生が作成した吃音リーフレット「東京都公立学校難聴・言語障害教育研究協議会」作製の中高生向け」は、都難言協のホームページ→広報で無料ダウンロードできます¹³⁾。

書籍としては、「吃音の合理的配慮」¹⁴⁾をお勧めしており、吃音のある子の支援の事例を紹介しています。

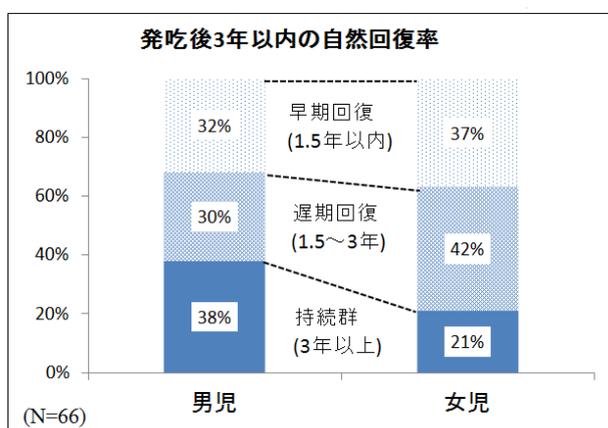
引用文献

- 1) Månsson H. Childhood stuttering: incidence and development. *J. Fluency Disord.* 2000; 25: 47–57.
- 2) Reilly S, Onslow M, Packman A, et al. Natural history of stuttering to 4 years of age: a prospective community-based study. *Pediatrics.* 2013; 132: 460–7. doi:10.1542/peds.2012-3067
- 3) Reilly S, Onslow M, Packman A, et al. Predicting stuttering onset by the age of 3 years: a prospective, community cohort study. *Pediatrics.* 2009; 123: 270–7. doi:10.1542/peds.2007-3219
- 4) Ambrose NG, Cox NJ, Yairi E. The genetic basis of persistence and recovery in stuttering. *J Speech Lang Hear Res* 1997 Jun;40(3):567-580.
- 5) Howell P, Davis S: Predicting persistence of and recovery from stuttering by the teenage years based on information gathered at age 8 years. *J Dev Behav Pediatr.* 32(3): 196-205, 2011.
- 6) Yairi E. and Ambrose N. *Early childhood stuttering.* Austin: Pro-Ed, Inc 2005.
- 7) 菊池良和. エビデンスに基づいた吃音支援入門. 学苑社, 東京, 2012.
- 8) 菊池良和著, はやしみこイラスト. 「子どもの吃音—ママ応援 BOOK—」学苑社, 2016 年.
- 9) 堅田 利明, 菊池 良和編著「保護者の声に寄り添い、学ぶ 吃音のある子どもと家族の支援:暮らしから社会へつなげるために」学苑社、2020 年.
- 10) Kikuchi Y, Umezaki T, Sawatsubashi M, et al. Experiences of teasing and bullying in children who stutter. *Int Arch Commun Disord* 2019. 2:013. doi:10.23937/2643-4148.
- 11) 小乃おの, 菊池良和解説「きつおんガール」合同出版、2020 年.
- 12) 菊池良和. 「吃音の世界」光文社新書, 2019 年.
- 13) <https://www.tonangen.com/kitsuon-omote> (2021/1/10)
- 14) 菊池良和. 「吃音の合理的配慮」学苑社、2019 年.

幼稚園・保育園の先生へ

吃音症（どもり）について

吃音（きつおん）は2～4歳に5%（20人に1人）の割合で発症しますが、約4割の子が3歳児健診以降に発症します。そのため、幼稚園・保育園の先生が相談される機会が多いでしょう。発症後4年で、74%の子が自然回復するが、吃音の家族歴がある子、男の子は回復する確率は減ります。発症の原因として、親の育児方法や園の接し方が発症の原因ではありません。吃音は言語の発達過程で生じてしまうものであり、世界中同じ割合で発症しています。新学年、新学期には吃音の症状が一旦増えるが、時間とともに軽減することが多い。幼稚園・保育園の先生に一番してほしいのは、子どもたちへの吃音の説明や、吃音のマネしている子がいたら止めさせてほしい。歌や2人で声を合わせると、どんな子でも吃音は消失します。



正常範囲	吃音
<ul style="list-style-type: none"> ・あの、えーと、などを使う（挿入） ・ボ、でんしゃに乗りたい（言い直し） ・ボール、ボールで遊ぼう（語の繰り返し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボ、ボ、ボ、ボール（語頭の一部を繰り返す） ・おーかあさん（引き伸ばし）が多い。 ・始めの一音がなかなか出ないこともある

先生ができること	<ol style="list-style-type: none"> ①吃音のからかいをやめさせる（少しのマネでも、傷つきます） クラスで吃音のからかいがあったら報告させる。 ②話すのに時間がかかっても待つ。 ③話し方のアドバイスをしない（ゆっくり、深呼吸して、落ち着いて、など）→効果がなく、逆にプレッシャーになります。 ④2人で声を合わせて話すと、吃音が消えることを知っておく。
----------	---

吃音の説明ロールプレイ

先生「〇〇くんは、ことばを繰り返したり、つまったりすることがあるけど、それをマネしたり、からかわないように。もしマネする人がいたら、先生まで教えてね。」

幼児「なんでマネしてはいけないのですか？」

先生「わざとやっている訳ではないから。」

幼児「うん。」とうなづいたら、ほめてあげる。

先生の一言が

非常に効果があり、

子どもは助かります。

小学校の先生へ

吃音症（どもり）について

吃音（きつおん）は、しゃべることばに連発（ぼ、ぼ、ぼ、ぼくは）、伸発（ぼーーーくは）、難発（……ぼくは）などが起きて、滑らかに発話できないことを指し、100人に1人は吃音があります。2011年に吃音のあるイギリスの王ジョージ6世の映画「英国王のスピーチ」がアカデミー賞を受賞したことで有名になりました。

吃音は、言語発達の盛んな2～4歳頃に発症するもので、原因はまだ特定されていません。吃音の治療法はまだ確立されていませんが、吃音によるいじめなどがなければ、年齢を重ねるにつれ、自然と軽減していくものです。精神的な弱さが吃音の原因と誤解されることがありますが、先生が精神的に強くしようとしても治すことはできません。吃音は最初のことばで発生することがほとんどであり、2人以上で声を合わせる（斉読）や歌では、吃音は消失します。

	連発 (最初のことばを くりかえす)	難発 (最初のことばが出るのに 時間かかる)
苦手な場面	本読み、発表、劇、健康観察、 日直、号令、自己紹介	
得意な場面	友だちとの会話、得意な話をするとき	
困ること	マネされる 笑われる	「早く言いなさい」とせかされる 答え・漢字がわからない誤解される 一生懸命話そうとするけど声がでない
先生が できること	①吃音のからかいをやめさせる（少しのマネでも、傷つきます） クラスで吃音のからかいがあったら報告させる。 ②話すのに時間がかかっても待つ。 ③話し方のアドバイスをしない（ゆっくり、深呼吸して、落ち着いて、など）→効果がなく、逆にプレッシャーになります。 ④本読み、号令などの対応を本人と話す。	

吃音の説明ロールプレイ

先生「〇〇くんは、ことばを繰り返したり、
つまったりすることがあるけど、それを
マネしたり、からかわないように。
もしマネする人がいたら、先生まで教えてね。」
児童「なんでマネしてはいけないのですか？」
先生「わざとやっている訳ではないから。」
児童「わかりました。」

先生の一言が

非常に効果があり、
子どもは助かります。

3 歳児健診用

「ことばを繰り返す」ことに気づいた親御さんへ

	正常範囲 1 歳半～6 歳	吃音 2 歳以降
特徴	あの、えーと、などを使う（挿入） ボ、でんしゃに乗りたい（言い直し） ボール、ボールで遊ぼう（語の繰り返し）が多い。	ボ、ボ、ボ、ボール（語頭の一語を繰り返す） おーーかあさん（引き伸ばし）が多い。 初めの一音がなかなか出ない事もある。

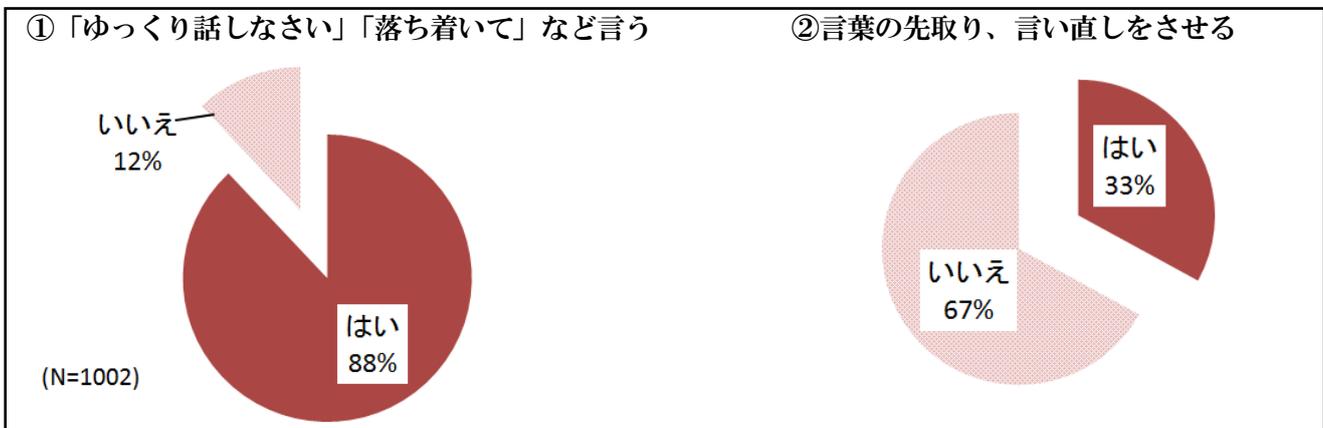
吃音（きつおん：どもり）は2～4歳の間、人口の5%（20人に1人）に発症する疾患である。4年で約74%の子が吃音から自然回復するが、成人になっても吃音が持続する人が人口の1%は存在する。その割合は、国や文化、人種が異なっても、ほぼ同じ割合である。吃音の40%は急性（1～3日）に発症するが、親の育児方法が原因で発症するのではない。

幼児の吃音はとても変動し、一見どもらなくなったとしても、周期的に変化するものである。昔言われていた、「吃音は意識させない方がいい」ということは、根拠のない言葉である。吃音をオープンに話すことが現在は大事とされている。

※吃音を急激に止める治療法はない。

できること1

- ・「ゆっくり話さない」「落ち着いて」など話し方のアドバイスをしない。効果がないので。
- ・言葉の先取り、言い直しもしない。話したい気持ちを尊重する



できること2

- ・本人が話しやすい雰囲気、時間的にプレッシャーをかけないことが、一番良いのである。
- ・1日5分でも、本人と親だけの特別な時間を作る
- ・交代交代に話す、子どもが言った言葉を反復し、伝わったことを示す
- ・子どもが「ほめられている」ことを実感する回数を増やす（ありがとうも、ほめ言葉である）

もし、吃音が半年以上続いている場合は、このパンフレットをもらった保健所（福祉保健センター）、母子保健センターなどに問い合わせ、言語聴覚士に経過をみてもらうことをお勧めする。

（文責：九州大学耳鼻咽喉科 菊池 良和）

家族の方への質問

氏名： _____

当てはまる方に○をつけてください。

		歳	ヶ月
どもり始めたことに気づいたのはいつですか？			
親戚や家族に吃音のある人がいますか？		はい	いいえ
子供の言葉がつかえていると、責められる感じがする		はい	いいえ
思い当たる吃音の原因がある（具体的に： _____）		はい	いいえ
子供が	話し方を気にする（例：「口がうまく動かない」、「つかえる」、「もう話せない」、「何か喉が蓋をされる」、と言う）	はい	いいえ
	助けを求める（例：「上手に話せない」、「医者に診てもらいたい」、「お薬ちょうだい」）	はい	いいえ
	困った表情をする（例：ため息、親の顔を見る）	はい	いいえ
	つかえたら、話すのをやめる。話す場面を回避する	はい	いいえ
	我慢ならない様子（例：どもると、「いつもダメだ」と言ったり、頭を動かす）	はい	いいえ
発音が間違っていたり、不明瞭で聞き返すことが多い。		はい	いいえ
①子どもと2人でじっくり話す時間がない（兄弟は本人含めて _____ 人）		はい	いいえ
②子どもをあまり誉めない		はい	いいえ
③子どもが話した言葉を、意識して、復唱やわかりやすい言葉で言い換えをしていない		はい	いいえ
④子供が言葉につかえていると、ゆっくり、落ち着いて、深呼吸してなどのアドバイスを		はい	いいえ
⑤言葉がなかなか出ないので、言いたい言葉を先取りして、言っている		はい	いいえ
⑥言葉がつかえることを、子供が友達にからかわれている		はい	いいえ
⑥「なぜことばがつまる（繰り返す）の？」と、子どもから質問されたことがない		はい	いいえ
⑦「うまくしゃべれない」と子どもが訴えたら、どうしていいか分からない		はい	いいえ

・来院しようと思ったきっかけは何ですか？

・祖父母（父方、母方）や近所の人、担任の先生は、子どもの吃音について、どう思っていると思いますか？

・吃音（どもり）について知っていること（インターネット、本）、また聞きたいことをお書きください。

（文責：九州大学病院耳鼻咽喉科 菊池良和）

ご本人への質問

氏名： _____

当てはまる方に○をつけてください。

来院しようと思ったきっかけは何ですか？		
(_____)		
C	言葉がつかえるのに気づいたのはいつ頃ですか？ どんな場面でした？（具体的に _____ 歳に _____）	
C	相手につかえる(どもる)ことを知られたくない	はい いいえ
C	自分の吃音をコントロールできない	はい いいえ
A	話す直前に、うまく言えるか、つかえる(どもる)か、不安になる	はい いいえ
A	言いにくい言葉があると、言いやすい言葉に置き換える	はい いいえ
A	本当は、言葉を置き換えずに話したい	はい いいえ
A	言葉がつかえた後、落ち込んだり、自分を責める。	はい いいえ
A	言葉がつかえた後、そのストレスを吐き出すことができない	はい いいえ
A	相手は悪くない、悪いのは全部自分である	はい いいえ
A	とっさの一言が言えないのが、なによりも困る	はい いいえ
A'	うつうつとした気分がほとんど毎日続いている。	はい いいえ
	何をしても、興味をもって取り組めないし、喜びも感じられない。そんな気分がほとんど毎日続いている。	はい いいえ
L	苦手な言葉がある (具体的に _____)	はい いいえ
M	ひとり言では、すらすらしゃべれることが多い	はい いいえ
M'	歌では、つかえない(どもらない)	はい いいえ
M'	話すときに、余計な力が入っている(どこに _____)	はい いいえ
S	苦手な場面、場所がある(具体的に _____)	はい いいえ
S	苦手な人がいる(具体的に _____)	はい いいえ
S	つかえることでからかわれたり、いじめられた経験がある	はい いいえ
S	つかえていたら、「落ち着いて」「ゆっくり話して」と言われる	はい いいえ
S	伝えないといけないことでも、言葉がつかえるから、伝えなかったことがある	はい いいえ
S	言葉がつかえる(どもる)ので、「できない」ことがある	はい いいえ
具体的には？		
例:発表、日直、スピーチ、電話をとられない、予約などの電話をかけられない、散髪、店員さんと話す店には行かない、映画館に行けない		

(文責：九州大学病院耳鼻咽喉科 菊池良和)

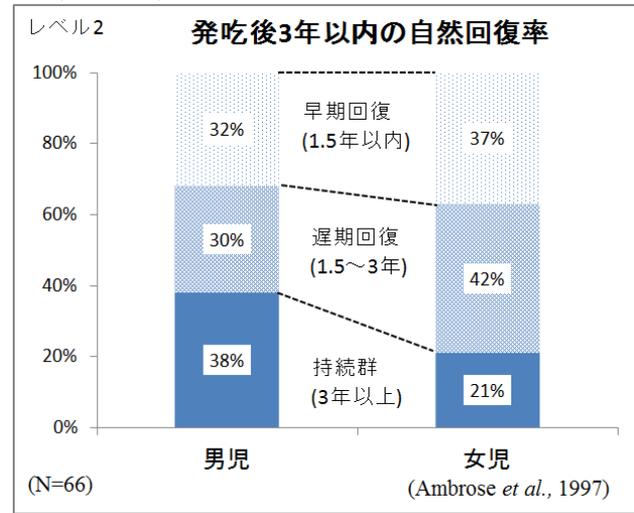
家族の方へ

九州大学病院耳鼻咽喉科 菊池良和

吃音症（どもり）について

2～5歳の100人に5人（5%）の割合で発症し、4年以内に74%が自然回復します。持続する可能性が高いのは、男児、家族・親戚に吃音の人がいる、他の発達が遅れている子です。また小学生まで持続している子は、成人まで持続する可能性が高いです。ただ、成人になっても吃音から回復する人がいて、共通するのは話す意欲・自分に自信を持っている人である。

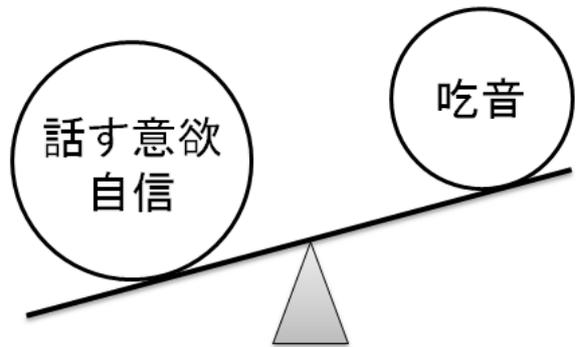
吃音の発症原因は、本人の体質的要因が7割、環境的要因が3割で、親の育児方法が原因ということはありません。簡単に治る癖ではなく、共通の特徴として、(1)歌ではどもらない、(2)誰かと声を合わせるとどもらない（斉読）、(3)独り言では吃音が軽減します。



吃音の進展段階

段階	吃音症状	心理的な負担
第1層	・お、お、お、おかあさん(連発) ・お——かあさん(伸発)	小 ↓ 大
第2層	・……おかあさん(難発) ・顔や首に力が入る、手や足でタイミングを取る(随伴症状)	
第3層	・苦手なことばを、言いやすいことばに言い換える(言い換え) ・回避以外の症状が出そう	
第4層	・話す場面から逃げる(回避) ・連発、伸発は減る	

吃音のある子の理想の状態



1. 話し方のアドバイスをしない（ゆっくり話して、深呼吸して、落ち着いて）
2. 言葉の先取りをしない（待っているよ、の姿勢）

※親の9割は話し方のアドバイスをして、3割は言葉の先取りや言い直しをしている
○できること

1. 邪魔されない発話場面を確保する（1日5分、難しければ言葉を拾う）
2. 聞き上手になる（間を取る、交代交代に話す、おうむ返しなど）
3. 子どもが「褒められている」と実感する回数を増やす（お手伝いなど）

○子供が困ったときの対処

1. 「なぜ僕は言葉がつかえるの？」と質問された時の答えを用意する。
2. 「あなたは悪くない」「そのままでもいいよ」と伝えよう。
3. かわいそうだからと、話すのを回避させない
4. 吃音の本を手が届く所に置いておく

幼稚園・保育園の先生へ

九州大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師 菊池良和

吃音症（どもり）について

吃音は2～5歳に5%（20人に1人）の割合で発症するので、吃音のある子に触れる経験のある先生が多いと思います。発症後4年で、74%の子が自然回復しますが、吃音の家族歴がある子、男の子は回復する確率は減ります。発症の原因として、その子の体質が7割、環境が3割であり、園の接し方が発症の原因ではありません。

吃音は長い言葉、難しい言葉、置き換えられない名前などで、吃音頻度が増加します。

吃音は容易に増加するのですが、一番気を付けていただきたいのは、吃音の真似・からかいなどです。どもっている時は、基本的にはせかさず待ってください。話し方のアドバイス（ゆっくり、落ち着いて、深呼吸してなど）や、言葉の先取りはしないでください。それ以外は、他の園児同様の接し方をしていただければ十分です。

配慮をして欲しいこと

①他の園児が吃音を指摘・真似・からかいなどしたら、丁寧に教えてあげてください。

吃音に気づいた園児を認めてあげることが、その園児の発達にとって大事であり、無視すると余計からかが増えます。そして、「〇〇君は、少しつつかえるんよ。からかわないでね。」など、真似・からかいをしないように言うと、多くの園児はそれに従います。

②吃音は、誰かと声を合わせると、すらすらしゃべられます。

なので、決まりきった名前を呼ぶ時などで苦労しているならば、「少し手伝おうか」「一緒に言おうか」など聞いて、本人が手伝って欲しいならば、声を合わせて言うと、すらすらしゃべるようになります。吃音は90%以上、最初の言葉で詰まるので、最初だけ手助けしていただくだけで、十分です。

③話す前に「ゆっくりと」「深呼吸して」「落ち着いて」という声掛けや、言葉の先取りは不要です。しゃべった所までの復唱やまとめをすると、話した言葉の伝わった安心感を持ちます。

先生・親・医療者の目標

① 吃音のある園児の自己肯定感（存在の自信）を高める。

② 自己肯定感があれば、吃音も軽減し、自分で目の前にある問題を解決する力が出てきます。

学校の先生へ

九州大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師 菊池良和

吃音症（どもり）について

100人に1人は吃音があります。2011年アカデミー賞映画「英国王のスピーチ」のイギリスの王ジョージ6世、内閣総理大臣 田中角栄氏も吃音があったことは有名です。

ことばを繰り返す（連発性吃音）以外に、なかなか思うように最初の言葉が出ない（難発性吃音）症状と、吃音を隠すための様々な努力と苦勞をしている人が多い疾患です。そして、ひそかに吃音のある自分を自分で否定していて、自分の存在に自信を失っています。

共通の特徴として、一人言ではすらすらしゃべられる、歌でもどもらない、誰かと声を合わせるとすらすらしゃべれます。外的タイミングに合わせるとすらすらしゃべられるので、内的タイミング障害と言われています。そして、必ず聞き手のいる場面で吃音が出ます。

吃音が悪化する要因として、支持的ではない聞き手、初めてあう聞き手、長い文章など。誤解されていることに、心理的な弱さが吃音を引き起こす訳ではなく、簡単に治せる癖でもありません。吃音は周期的に変化するものであり、言語療法などのセラピーをしている間でも、吃音は悪化することもあります。時間がたてば、また軽減する時期が来ます。

そして、ほとんどの人は成人になる頃には、学生時代と比べて軽減します。吃音の軽減に一番効果的なのは「自信」と「意欲」なので、学生時代の経験がとても大切です。

配慮をして欲しいこと

①本読み（言葉を言い換えられないものが最も難しい）、日直など、吃音のある人が、最も悩みを深める場面での対応を、その児童・生徒と相談してください

（例）A. 1ヶ月間は本読みを当てない（1ヶ月後に再確認をする）

B. 本読みするけど、短い文章を当てる

C. これまで通り、普通に当てる

どうしても言葉が出ない時は、最初の言葉だけを一緒に読んでいただくと、後の声ですらすら出ることが多いです。吃音は90%が最初の言葉なので。

②吃音のある人が本読みをすることは、他の人よりもはるかに大変です。

流暢度は評価せず、本読みを最後までできたことに褒めたり、支持的な態度でいてください。そうすると、話す前の予期不安が減り、吃音も軽減します。

③言葉がつかえたり、繰り返したりすることをからかう児童・生徒がいたら、からかわないように説明してください。からかい・いじめがあると、吃音はさらに悪化します。

④話す前に「ゆっくりと」「深呼吸して」「落ち着いて」という声掛けは不要です。

先生・親・医療者の目標

①吃音のある児童・生徒の自己肯定感（存在の自信）を高める

②自己肯定感があれば、吃音も軽減し、自分で目の前にある問題を解決する力が出てきます。

中高校生の先生方へ

吃音(きつおん)とは

吃音は2016年施行の「障害者差別解消法」の対象疾患です。生徒の100人に1人は吃音があります。幼少時は連発(ぼぼぼぼくは…)が主ですが、中高校生では難発(最初の一音がなかなか出ない)の吃音が主となります。流暢に話せる時間が多く、どもってしまう時間が少ないので、先生に伝えると「気づかなかった」と言われる場合が多いです。普段流暢に話していても、電話や発表、普段の会話時に最初の言葉が数秒でなくても(どもってしまっても)、注意せず、ビックリせず、笑わずに、話の内容に注目してください。

吃音は同じ言葉を2人で言うとももらないという特徴もあります。吃音のある生徒は、「吃音があることを知ってほしい」「最後まで話すのを待ってほしい」「ゆっくり・落ち着いて、のアドバイスは不要」という配慮だけでも十分に思う学生はいます。JASSO「教職員のための障害学生の就学支援ガイド」に似た形で作成しました。不当な差別的取り扱いの禁止と、合理的配慮の提供をよろしくお願いいたします。

高校入試・学校生活の悩み

1. 面接で吃音が出ることで、減点されないか心配。
2. 音読・発表で、声がなかなか出ない難発の吃音が出て、不勉強・反抗的と思われないか心配。

支障(バリア)となる場面

音読(国語・英語・社会) 自己紹介 発表 日直・号令 卒業式・立志式
職員室で自分・先生の名前を言うこと

支援が必要な場面	どのような困難さ	どのような支援が考えられる
入学試験	面接時「失礼します」「自己紹介」など、流暢に言えない	時間的な余裕の確保、寛容な聞き手の姿勢
学習支援	出席、卒業式の点呼に「はい」という言葉が言えない	挙手で確認、または返答する時間的な余裕の確保
	授業中の発表(音読、英語スピーチを含む)に時間がかかる	時間的な余裕の確保、または録音音声の使用。担当教員との配慮の確認
英検・GTEC	面接・スピーキング試験が心配	英検では発話の配慮または筆談の配慮、GTECではSpeakingの試験免除の配慮が受けられる
部活	他生徒から笑われる、とっさの声かけができない、審判が苦手	笑わないように指導、声が出なくても叱責しない、審判を他の生徒に変更
生活支援	友人が作れない	心理カウンセリング、学外連携を活用
面接支援	就職・進学面接が怖い	面接の練習(吃音が出ることを前提に)

【学外連携】各都道府県の言語聴覚士会、NPO 法人全国言友会連絡協議会、小中高校生の吃音のつどい

吃音のある学生の在籍する大学等の教職員の皆さまへ

吃音（きつおん）とは

人口の100人に1人はいます。連発（ぼぼぼぼくは・・・）だけではなく、難発（最初の一音がなかなか出ない）の吃音もあり、難発の吃音に対して、悩むことが多いです。吃音は歌ではどもらない、同じ言葉を2人で言うとももらないという特徴もあります。人により異なりますが、流暢に話せる時間が多く、どもってしまう時間が少ないので、普段流暢に話していても、電話や発表、普段の会話時にどもってしまっても、ビックリせず、笑わずに、話の内容に注目してください。吃音は2016年施行の「障害者差別解消法」の対象となっています。吃音のある学生は、「吃音を持っていることを知ってほしい」、「最後まで話すのを待ってほしい」という配慮だけでも十分に思う学生もいます。JASSO「教職員のための障害学生の就学支援ガイド」に似た形で作成しました。不当な差別的扱いの禁止と、合理的配慮の提供をよろしくお願いいたします。各大学の支援室（バリアフリー支援室、障がい学生支援ルーム、アクセシビリティセンター等）と連携をとっていただけると助かります。

合理的配慮の例：以下のような場面で困難が生じていないか、吃音のある学生と話し合う機会をもって頂けると助かります。

支援が必要な場面	どのような困難さ	どのような支援が考えられるか
入学試験	面接時「失礼します」「自己紹介」など、流暢に言えない	時間的な余裕の確保、寛容な聞き手の姿勢
学習支援	出席の点呼に、「はい」という言葉が言えない	挙手での確認、または返答する時間的な余裕
	授業中・少人数ゼミの発表（音読を含む）に時間かかる	時間的な余裕の確保、または録音音声の使用 担当教員との直接対話
	発表（研究発表時、パワーポイント使用）	時間的な余裕の確保、または読み原稿をパワーポイントに表示しながら発表
	グループでの実習・実験活動	グループメンバーに協力を依頼 担当教員との直接対話
学生生活支援	友人が作れない、引きこもってしまう	心理カウンセリング、学外連携を活用
就職支援	履歴書・エントリーシートを書く手伝いをしてほしい	就職ワークショップ等の紹介、個別に履歴書の書き方を指導する
	面接が怖い	面接の練習（吃音が出ることを前提に）
	就職が決まらない	地域の障害者職業センター、ハローワーク等外部リソースとの連携

【学外連携】各都道府県の言語聴覚士会、NPO法人(全国言友会連絡協議会)など。